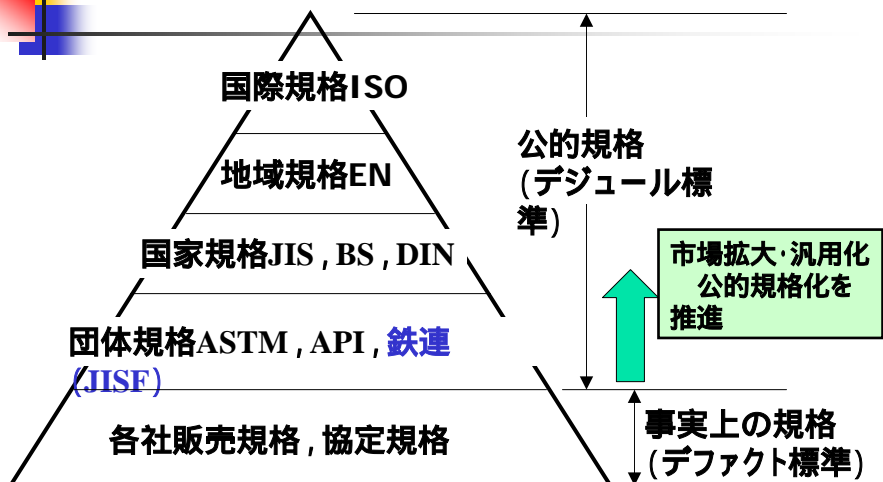


第4回事業戦略と標準化シンポジウム
「コンセンサス標準の戦略的活用事例」

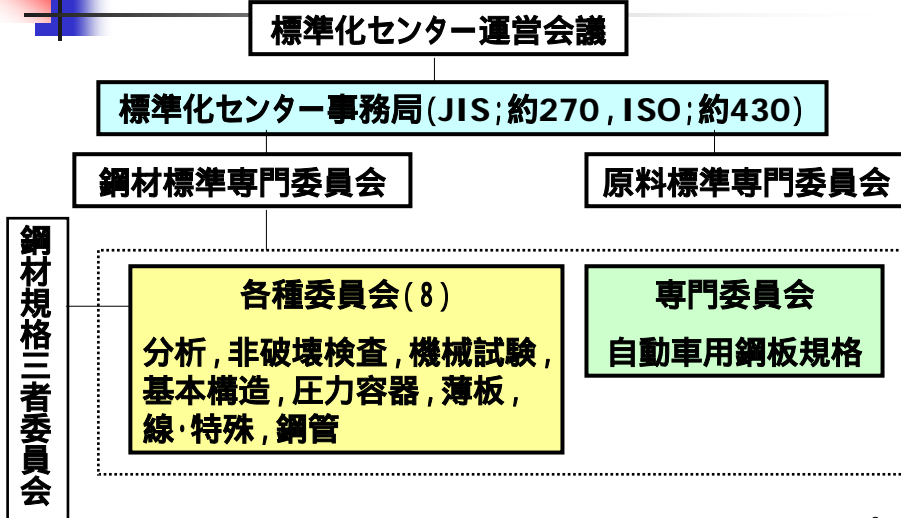
鉄鋼業界及び新日鉄のコンセンサス標準の戦略的活用事例

平成20年6月26日(木)
新日本製鐵(株)

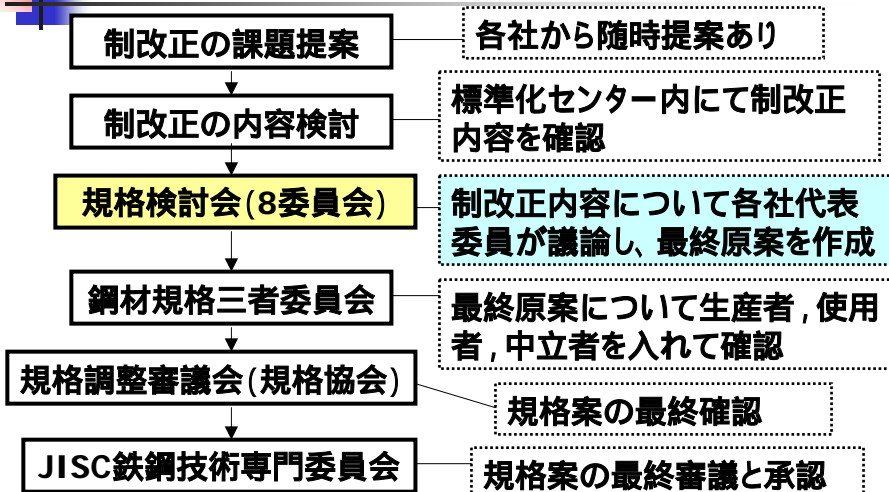
鉄鋼業界の規格の階層と標準化




鉄鋼連盟 / 標準化センターの組織



JIS等コンセンサス標準の制改正





業界コンセンサス標準の事例

鉄鋼連盟規格「自動車用鋼板規格」の制定

< 制定前 > JIS, JASO (自動車技術会) 規格
及び各自動車会社・各鉄鋼メーカーとの協定
規格を使用 要求性能の多様化等により
650種を超えるグレードが存在していた



- 発注規格数及び製造グレード数の大幅削減
- 個別特殊仕様品の大幅削減

5



業界コンセンサス標準の事例


自動車工業会と鉄鋼連盟が連携して、1996年
に制定。約150種のグレードに集約。さらに規格
値の狭幅化とグレード間差を明確化した。



< 想定した双方での効果 >

- 発注作業及び製造段取り等の管理工数削減
- 小ロット品の発注集約化 設計・製造の改善
- 購買の発注作業の自由度拡大

6



業界コンセンサス標準の事例

2008年4月に改正

- ◇ 新しく開発され使用されている高張力鋼板のグレードを制定
- ◇ 欧州使用済み自動車(ELV指令)等への対応として、六価クロムを含まないクロメートフリー処理を規定に追加
- ◇ 使用実績のないグレードを廃止

7



国際標準化でのコンセンサス標準戦略

1. 日本の優れた製品を先行して国際標準化することで市場拡大を図る

[例] 建築構造用耐震鋼板のISO, ASTM規格化

2. 日本の最新の技術及び先進性を生かした国際標準化を提案する

[例] 自動車鋼板用高速引張試験方法のISO規格化
穴拡げ試験方法のISO規格化

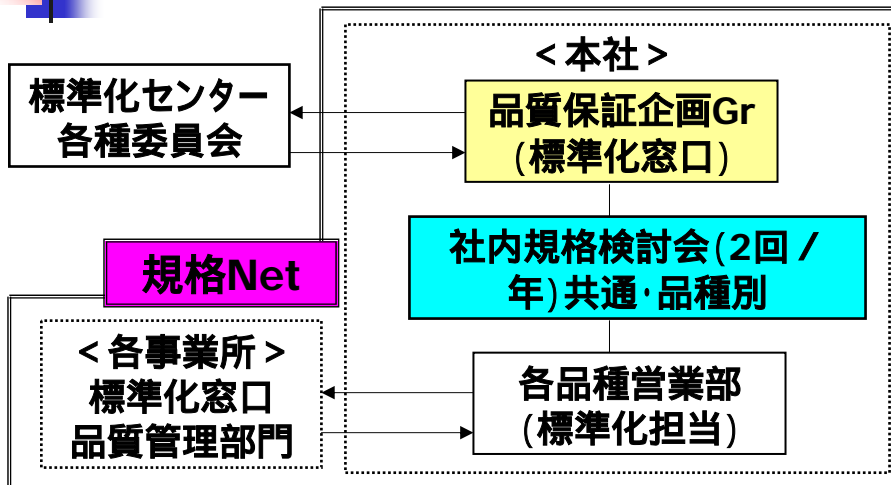
8

国際標準化でのコンセンサス標準戦略

3. 各国の国際標準化活動に対する防衛のための監視強化を図る

[例] 引張試験方法のISO改正対応
 シャルピー衝撃試験方法のISO改正対応

新日鉄の標準化活動





新日鉄の標準化戦略

社内規格検討会の場で定期的に議論

- 1. 新商品開発後の知財化・デファクト化**
- 2. 当社の技術優位性を生かした規格の差別化**
- 3. 国際標準化への積極的な参画と監視強化**